

あなたの人生とみんなの人生を
豊かにするために

国際ロータリー第 2620 地区
プログラム委員会

青少年交換プログラム
インターアクトプログラム

Rotary
District 2620





日本航空高校・インターアクトクラブ

目次

青少年交換学生募集要項	2
ロータリークラブ所在地一覧	4
青少年交換プログラム	7
青少年交換派遣学生体験記	8
インターアクトプログラム	12



国際ロータリーHP



国際ロータリー第 2620 地区
静岡・山梨地区 HP

Rotary



ロータリー青少年交換プログラム

2023-2024 年度(2024-2025 年度派遣)

ロータリー青少年交換学生募集要項

～ロータリーは勇気を持ち

夢を叶えようと挑戦するあなたを応援します～

国際ロータリー第 2620 地区では、2024-2025 年度派遣の青少年交換学生を下記の要領で募集いたします。各ロータリークラブ・学校関係者の皆様におかれましては、次世代を担う青少年の育成を通し異文化に接し、国際理解と平和を推進するこの青少年交換プログラムの趣旨と目的をご理解いただき、ご参加をお願い申し上げます。

2024-2025 年度 派遣学生募集について

【交換内容】各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。現地の言葉を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年使節としての国際理解と親善に努めます。

【主な派遣相手国】アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、ブラジル、台湾、ポーランド、ドイツ、ベルギー等

【募集人数】3 名程度(書類審査・面接にて決定)

【応募方法】スポンサークラブを通じて第 2620 地区 地区事務所【青少年交換小委員会】にお申し込みください。

◆派遣期間◆ 2024 年 8 月出発、約 1 年間

◆募集期間◆ 2023 年 5 月 10 日(水)～7 月 20 日(木)

◆選考試験◆ 2023 年 8 月 20 日(日)予定 書類審査・面接(保護者同伴)、
(英語で自己紹介など 3 分間スピーチ他)

【応募期限】2023 年 7 月 20 日(木)

※期限を厳守願います。

※応募多数の場合は、選考となります。

【青少年交換プログラム】は、1929 年フランスのニースロータリークラブが最初の交換留学を行い、その後 1939 年にはアメリカ合衆国・南米間で開始されました。ロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイをさせあい、我が子のよように育ててみようという試みに端を発しています。子供たちは異国という環境の中、好意に溢れたロータリアンの庇護のもとで、異文化にふれあい、生活することで互いの立場や違いを認め、尊重する真の国際人として成長していきます。そしてこのプログラムは、次世代の青少年の育成という有意義な奉仕活動として認められ、1972 年に国際ロータリー理事会において世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動として正式に推奨されました。近年、世界中で年間 8000 人の 16 歳から 18 歳の高校生が参加しています。こうしたプログラムの成り立ちから、青少年交換プログラムのみ、ロータリアンの子弟参加が認められています。また、ロータリアンの子弟のみならず、関係者の子弟、または来日学生達がお世話になった高等学校からの推薦などにより応募できます。

2024-2025 年度 派遣学生募集要項

1. 交換内容

各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。現地の言葉を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年使節としての国際理解と親善に努めます。

2. 主な派遣相手国

アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、ブラジル、台湾、ポーランド、ドイツ、ベルギーなど

3. 派遣期間と募集人数

- ・2024年8月に出発し、期間は約1年間（定められた期間以上滞在することはできません）
- ・採用及び派遣先は地区青少年交換委員会において決定します。

（派遣先の受け入れ人数が限られており、希望通りの派遣国にならない場合があります）

募集人数は3名程度（応募多数の場合は書類選考、面接（保護者同伴）、筆記テスト等の選考になります）

4. 費用

プログラム参加費（¥100,000 程度）、派遣先までのビザの取得、予防接種、往復旅費、傷害・健康保険料、現地での諸雑費は本人（保護者）の負担とします。現地での生活費、教育費（高校）の全額及び少々の小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

5. 応募資格

- 1) 出発時、16～18歳の高校生で日本国籍を有し、保護者の承諾があり、学校長及び当地区内ロータリークラブの推薦を受けることが出来る者
- 2) 保護者がホストファミリーになることの協力が得られる者。
- 3) 健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。学業成績は、学年で上位1/3以内の者。
- 4) 異文化、異なる環境で1年間過ごすことができる積極性と適応力を備えていること。
- 5) 学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可が得られる学生であること。
（派遣中における現在の学校での単位取得等に関しましては、各学校とご相談下さい。また、派遣相手国での学校の単位は基本的には取得できません）
- 6) 派遣までの間に当委員会が行うオリエンテーションにすべて参加し、クラブ活動などと重なった場合でも当プログラムを優先できる者。
- 7) 派遣先より帰国後、ROTEX（帰国学生）として当プログラムに参加・協力できる者
- 8) コロナウイルス等の感染症や戦争（紛争）などの緊急時において地区ガバナーの帰国要請（プログラム中止等）に従うことのできる者

6. 応募期限 2023年7月20日（木） ※期限厳守願います。

募集期間 2023年5月10日（水）～7月20日（木）

選考試験 2023年8月20日（日）予定 書類審査・面接（保護者同伴）、

英語で自己紹介など3分間スピーチ他

7. 来日学生の受入

原則として、派遣学生を推薦したロータリークラブは、カウンセラーを選出いただき、派遣相手国より来日学生を受け入れなければなりません。また、スポンサークラブは、受け入れ期間中のホームステイ先であるホストファミリーの確保をお願いいたします。スポンサークラブには地区より年間幾らかの支援金を供給します。（派遣人数・地区予算についてはクラブ会員数により変動します）

【申し込み方法】

①応募希望者は、地域のロータリークラブを通じて地区事務所に応募用紙一式をご請求下さい。

地域のロータリークラブが奉仕活動として行いますので、必ずロータリークラブの推薦が必要です。

問い合わせクラブが不明の場合、また事業内容の詳細につきましては、下記担当者までご連絡下さい。

②応募用紙に必要事項を記入し(1)学校長の署名・捺印(2)ロータリークラブの会長・幹事の署名・捺印の上、成績証明書を添えて、下記住所までお送り下さい。 ■応募期限：2023年7月20日(木)

〒420-0853 静岡県葵区追手町2-12 安藤ハザビル5階 第2620地区 地区事務所

【青少年交換小委員会】宛 Tel：054-252-2620 Fax：054-274-2623

Email：office@ri2620.gr.jp(事業担当 小澤邦比呂・雨宮哲也)

～ロータリークラブ所在地一覧～

	クラブ名	事務所住所	E-mail	TEL・FAX
山梨第1グループ	甲府	〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内	info@kofu-rotary.gr.jp	TEL:055-237-5475 FAX:055-231-1841
	富士吉田	〒403-0004 富士吉田市下吉田5-1-7 セントラルサトービル3F	fujiyoshida@fujigoko.club	TEL:0555-24-5544 FAX:0555-24-8744
	大月	〒401-0015 大月市大月町花咲1287-42	otsuki_rc@outlook.jp	TEL:0554-22-6326 FAX:同上
	都留	〒402-0052 都留市中央2-7-5	tsururc@gmail.com 携帯：070-1219-7647	TEL:0554-45-7647 FAX:0554-43-3999
	河口湖	〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津1 富士レークホテル内	kawa-ro@abeam.ocn.ne.jp	TEL:0555-24-7670 FAX:同上
	富士吉田西	〒403-0004 富士吉田市下吉田6-25-21 渡秀工業株式会社内	fujiyoshida.west@gmail.com	TEL:0555-23-5491 FAX:同上
	山中湖	〒401-0502 南都留郡山中湖村平野3297 羽田様方	yamanakako322@gmail.com	TEL:0555-62-0322 FAX:同上
	甲府北	〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内	kofu-kita@kofu-goudou-rc.gr.jp	TEL:055-237-5475 FAX:055-231-1841
	山梨	〒405-0018 山梨市上神内川1167 割烹旅館 秋月内	yamanashi-rc@leaf.ocn.ne.jp	TEL:0553-23-6661 FAX:なし
	甲府西	〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内	kofu-nishi@kofu-goudou-rc.gr.jp	TEL:055-237-5475 FAX:055-231-1841
山梨第2グループ	甲府東	〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内	kofu-higashi@kofu-goudou-rc.gr.jp	TEL:055-237-5475 FAX:055-231-1841
	甲府	〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内	kofu-city@kofu-goudou-rc.gr.jp	TEL:055-237-5475 FAX:055-231-1841
	甲斐	〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内	kai@kofu-goudou-rc.gr.jp	TEL:055-237-5475 FAX:055-231-1841
	甲府中央	〒400-0049 甲府市富竹4-1-7 株式会社ヒロコーポレーション内	info@kofucrc.com	TEL:055-227-0651 FAX:055-227-0562
	甲府南	〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内	kofu-minami@kofu-goudou-rc.gr.jp	TEL:055-237-5475 FAX:055-231-1841
	笛吹	〒406-0031 笛吹市石和町市部522 風間建設(株)3F	isawarc@iris.ocn.ne.jp	TEL:055-263-8584 FAX:同上
	市川大門	〒409-3603 西八代郡市川三郷町黒沢692-1	ichikawadaimon@ri2620.gr.jp	TEL:055-272-4414 FAX:同上
	南アルプス	〒400-0306 南アルプス市小笠原394-1 深澤様方	minamialpsrotary@gmail.com	TEL:055-283-2856 FAX:同上
山梨第3グループ	韮崎	〒407-0037 韮崎市大草町若尾1340 ホテル舟山内	staff@nirasaki-rc.jp	TEL:0551-30-9037 FAX:0551-30-9038
	北杜	〒408-0021 北杜市高根町五町田1104	tatao6@mx2.nns.ne.jp	TEL:090-3532-0979 FAX:0551-47-3363
	甲斐	〒400-0115 甲斐市篠原1957-1	rotary-r@mx3.nns.ne.jp	TEL:055-279-2722 FAX:055-279-1866
	山梨	山梨ハウス工業展示場内		
	甲斐の郷	〒400-0074 甲府市千塚2-1-26 伊藤様方	kenbiki-y.kofu@kxb.biglobe.ne.jp	TEL:055-254-3538 FAX:055-254-3538

～ロータリークラブ所在地一覧～

	クラブ名	事務所住所	E-mail	TEL・FAX
静岡第1グループ	伊 東	〒414-0027 伊東市竹の内1-1-3	ito-rc@rx.tnc.ne.jp	TEL:0557-38-5166
		ホテルラヴィエ川良内	事務局携帯：080-2641-1297	FAX:同上
	三 島	〒411-0037 三島市泉町9-8	ri2620mishima-rotary@aurora.ocn.ne.jp	TEL:055-976-6351
		高島テナント1F 南号室		FAX:055-976-6352
	下 田	〒415-0012 下田市白浜2400-12	info@shimoda-rc.jp	TEL:0558-36-4467
				FAX:同上
	熱 海 南	〒413-0022 熱海市昭和町6-33	office@atamisrc.org	TEL:0557-83-3736
		ヤマヘイビル2F		FAX:0557-83-3746
	伊豆中央	〒411-0037 三島市泉町9-8	izuchuo-rc@woody.ocn.ne.jp	TEL:055-976-6351
		高島テナント1F 南号室		FAX:055-976-6352
静岡第2グループ	三 島 西	〒411-0037 三島市泉町9-8	miswesrc@ybb.ne.jp	TEL:055-976-6351
		高島テナント1F 南号室		FAX:055-976-6352
	伊 東 西	〒414-0027 伊東市竹の内1-3-16	itowest.rc@gmail.com	TEL:0557-37-0036
		暖香園ボウル内		FAX:同上
	せ せ ら ぎ 三 島	〒411-0037 三島市泉町9-8	kawasemi2020@saseragi-mishima-rc.gr.jp	TEL:055-976-6351
		高島テナント1F 南号室	携帯：090-8736-2915	FAX:055-976-6352
	沼 津	〒410-0881 沼津市八幡町15	info@numazu-rc.gr.jp	TEL:055-963-0515
		ビレッジ35 303号		FAX:055-963-5202
	富 士 山 吉 原	〒410-0312 沼津市原1771-2	info@mtfujii-yoshiwara-rc.jp	TEL:0545-51-0678
		増田様方		FAX:0545-53-1673
静岡第3グループ	沼 津 北	〒410-0801 沼津市大手町1-2-1	numazu-n-rc@coffee.ocn.ne.jp	TEL:055-963-1960
		フォーラム壹番館3F		FAX:055-963-1970
	富 士	〒416-0913 富士市平垣本町8-1	fujii@ri2620.gr.jp	TEL：0545-61-0360
		ホテルグランド富士内		FAX：0545-61-8564
	富 士 宮	〒418-0001 富士宮市万野原新田3040-4	2620@fujinomiya-rc.gr.jp	TEL：0544-91-7267
		加藤様方		FAX:同上
	御 殿 場	〒412-0024 御殿場市東山1052	info@gotemba-rc.gr.jp	TEL:0550-83-1133
				FAX:0550-83-1138
	沼 津 柿 田 川	〒410-0312 沼津市原1771-2	officework@rcj-nk.org	TEL:055-969-2321
		増田様方	事務局携帯：090-8472-7384	FAX:055-969-2322
静岡第3グループ	裾 野	〒411-0941 駿東郡長泉町上土狩346-1	susunorc@gmail.com	TEL:055-988-3070
		米山梅吉記念館内		FAX:同上
	長 泉	〒411-0941 駿東郡長泉町上土狩346-1	n-jimu@nagaizumi.com	TEL:055-988-3070
		米山梅吉記念館内		FAX:同上
	富 士 宮 西	〒418-0034 富士宮市黒田205-1	fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp	TEL:0544-22-8899
		ゲストハウス フォレストヒルズ内		FAX:0544-22-7666
	新 富 士	〒416-0913 富士市平垣本町8-1	shinufuji@ri2620.gr.jp	TEL:0545-61-0360
		ホテルグランド富士内		FAX:0545-61-8564
	沼 津 西	〒410-0046 沼津市米山町3-37	numawestrc@gmail.com	TEL:055-961-2050
		アクアガーデン迎賓館 沼津内		FAX:055-961-2600
静岡第3グループ	静 岡	〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12	shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp	TEL:054-254-5611
		静岡安藤ハザマビル5F		FAX:054-221-0515
	清 水	〒424-0829 静岡市清水区巴町9-9	shimizu.rotary@gmail.com	TEL:054-340-3443
				FAX:054-340-3448
	静 岡 東	〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12	shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp	TEL:054-254-5611
		静岡安藤ハザマビル5F		FAX:054-221-0515
	清 水 北	〒424-0816 静岡市清水区真砂町1-12	shimizu4rc@mail.wbs.ne.jp	TEL:054-340-2550
		NSビル3A		FAX:054-340-2551
	駿 河	〒421-3211 静岡市清水区蒲原新田1-15-23	surugarc@triton.ocn.ne.jp	TEL:054-388-2826
				FAX:054-388-2980
静岡日本平	静 岡	〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12	6rc-godo@mail.wbs.ne.jp	TEL:054-254-5611
		静岡安藤ハザマビル5F		FAX:054-221-0515

～ロータリークラブ所在地一覧～

	クラブ名	事務所住所	E-mail	TEL・FAX
静岡第3グループ	静岡西	〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12	6rc-godo@mail.wbs.ne.jp	TEL:054-254-5611
		静岡安藤ハザマビル5F		FAX:054-221-0515
	清水西	〒424-0816 静岡市清水区真砂町1-12	shimizu4rc@mail.wbs.ne.jp	TEL:054-340-2550
		NSビル3A		FAX:054-340-2551
	静岡中央	〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12	6rc-godo@mail.wbs.ne.jp	TEL:054-254-5611
		静岡安藤ハザマビル5F		FAX:054-221-0515
静岡第4グループ	清水中央	〒424-0829 静岡市清水区巴町9-9	shimizu.chuo.rc@gmail.com	TEL:054-340-3443
				FAX:054-340-3448
	静岡北	〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12	shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp	TEL:054-254-5611
		静岡安藤ハザマビル5F		FAX:054-221-0515
	焼津	〒425-0071 焼津市三ヶ名1671	yaizurotary1960@ca.thn.ne.jp	TEL:054-629-4850
		ヤマキンビル302号		FAX:054-628-7669
	島田	〒427-0042 島田市中央町11-3	shimada-rc@ca.tnc.ne.jp	TEL:0547-37-3798
				FAX:0547-37-8184
	磐田	〒438-0054 磐田市浜部155	iwatarc@guitar.ocn.ne.jp	TEL:0538-37-1020
		醍醐荘内	事務局携帯：080-1563-7799	FAX:0538-37-1026
	藤枝	〒426-0037 藤枝市青木1-11-10	club1972@fujieda-rotary.org	TEL:054-647-2300
		アクセス21 2F		FAX:054-647-2040
	掛川	〒436-0028 掛川市亀の甲2-8-5	krcmail@krc2620.com	TEL:0537-22-0111
		パレスホテル掛川内		FAX:0537-25-2120
	焼津南	〒425-0071 焼津市三ヶ名1671	y-south-rotary@ca.thn.ne.jp	TEL:054-626-3180
		ヤマキンビル302号		FAX:054-626-3190
	榛南	〒421-0422 牧之原市静波1725-18	hainan.rotary@gmail.com	TEL:090-6363-6943
		榛原自家用自動車協会内		FAX:0548-22-1513
静岡第5グループ	袋井	〒437-0065 袋井市堀越382-1	rc-fukuroi@vc.tnc.ne.jp	TEL:0538-23-3118
		レスベランス内		FAX:同上
	藤枝南	〒426-0025 藤枝市藤枝4-7-16	jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp	TEL:054-646-3919
		藤枝商工会議所内		FAX:054-643-2000
	浜松	〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1	hamamatsu_rc@lake.ocn.ne.jp	TEL:053-454-2620
		グランドホテル浜松内		FAX:053-455-0262
	浜松東	〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2	info@heastrc.com	TEL:053-569-3473
		オークラアクティホテル浜松内		FAX:同上
	浜松南	〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1	sobukawa@h-minamirc.jp	TEL:053-426-3671
		グランドホテル浜松内		FAX:同上
	浜松北	〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1	hamamatsu-north@ri2620.gr.jp	TEL:053-458-3722
		グランドホテル浜松内		FAX:同上
	浜松西	〒430-0946 浜松市中区元城町109-18	hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp	TEL:053-457-1116
		ホテルコンコルド浜松内		FAX:053-455-4614
	浜北	〒434-0023 浜松市浜北区高茵381	jimu@hamakita-rc.net	TEL:053-587-1212
		ピラックス高茵内		FAX:053-587-0118
	浜名湖	〒431-1424 浜松市北区三ヶ日町下尾奈200	hamanako@hamanako-rc.com	TEL:053-524-1177
		浜名湖レークサイドプラザ内		FAX:同上
	浜松中	〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1	hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp	TEL:053-450-3003
		グランドホテル浜松内		FAX:053-450-3006
静岡第5グループ	浜北伎倍	〒434-0023 浜松市浜北区高茵381	h.n@machida-sd.co.jp	TEL:053-586-8866
		ピラックス高茵内		FAX:053-589-8158
	浜松	〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1	hhrc@plum.ocn.ne.jp	TEL:053-413-1782
		グランドホテル浜松内		FAX:053-413-1781
	パワ	〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2	info@power-hamamatsurc.jp	TEL:053-452-0800
		オークラアクティホテル浜松内		FAX:同上
	浜松	〒430-0808 浜松市中区天神町21-23	info@h-siyou-r.club	TEL:053-469-2566
		(株)田淵邦彦写真事務所内		FAX:053-462-6263
	浜松志耀			

国際ロータリー青少年交換プログラム 第 2620 地区青少年交換留学

異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現できると私たちは信じています

世界 100 カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19 歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

＜ロータリー青少年交換でできること＞

青少年交換でいろいろな可能性が広がります。

- ・自分で考え、率先して行動する力を育てる
- ・外国語や異文化を学び、グローバルな地球市民になる。
- ・海外の若者との交流を通じ、豊かな人生を生きるためのネットワークと人脈作り。

＜交換の期間＞

海外で 1 年間を過ごす長期交換では、複数のホストファミリー宅に滞在しながら、現地の学校に通います。多くの場合ホストファミリー宅に滞在しますが、世界中の交換留学生たちと合宿やツアーに参加することもあります。

＜参加費用＞

宿泊と食事代、学費はロータリーが負担します。そのほかの費用は地区やクラブによって異なりますが、通常、以下の費用を学生が負担します。

- ・往復航空券
- ・旅行保険
- ・旅券とビザにかかる費用
- ・小遣い／追加の旅行やツアーに参加する場合の費用

＜申請方法＞

交換学生となるにふさわしい地元の 15～19 歳の学生が対象です。交換留学の機会があるかどうか、どのように申請できるかは、地元のロータリークラブに直接ご連絡ください。



派遣学生：稲垣ゆりか（西遠女子学園中学校・高等学校）

（2012～2013 年度 派遣先国ドイツ）（スポンサークラブ：浜松南 RC）

【留学前】

私は 2012/13 年に第 2620 地区からドイツの第 1890 地区へ 1 年間交換留学生として派遣させて頂きました。中学の時から留学をしたいという強い思いがあり、縁があってロータリー交換留学プログラムに応募する事が出来ました。留学前は英語圏への留学を希望していましたが、「あなたはどこの国を希望していますか？」という唐突な質問に私は咄嗟に「ドイツに行きたいです」と答えたのが、始まりでした。ドイツへ行きたいと答えたものの、恥ずかしながら、オリエンテーションの日はドイツ語はもちろん、首都の名すら知らず、段々と不安になりました。家族も学校の先生や友人も、なぜ受験で役に立つ英語圏ではなくドイツを選んだのか、不思議に思っていました。留学前のオリエンテーションを重ねるごとに、ヨーロッパを留学先にする事で、現地のヨーロッパ旅行に参加出来る事や、現地語だけでなく、交換留学生との交流で英語も同時に伸ばせることを知り、留学が楽しみになりました。

【留学中】

ドイツ語をほとんど学ばずに現地へ飛び込んだ為、やはり言葉の壁は大きいと感じました。また、私の入った現地の学校のクラスは 5 年間クラス編成のない集団の中に入った為、同じバックグラウンドを共有出来ず、仲間に入る事も難しく感じ、疎外感を感じた事もありました。しかし、自分から積極的に習いたてのドイツ語を使って話しかける事でその壁は徐々に無くなっていきました。また、同じ年代の友人は政治や時事問題に対してそれぞれ意見を持っており、留学中は日本の政治や日本が抱える問題について問われる事が多々ありました。これまで政治について何の関心も知識も無かったため、新聞を読む事の大切さ、そしてそれに対する自身の意見を持つ事の大切さを身をもって感じました。



ドイツ旅行中（留学生の仲間とユースホステルにて）



ヨーロッパ旅行中（ロータリー交換留学生の仲間とブタペストにて）

同じ地区には約 50 名の交換留学生が世界各国から集まっていました。アメリカと南米諸国からの留学生が半数をしめていました。現地のオリエンテーションやドイツ 1 周旅行(2 週間)、ヨーロッパ旅行(3 週間)を通して、様々な国の友人と深く繋がる事が出来ました。その中で共通語はやはり英語、そして、スペイン語を話す留学生も多く、基本的なスペイン語も教えてもらい、英語とスペイン語に触れる良い機会となりました。

【留学後】

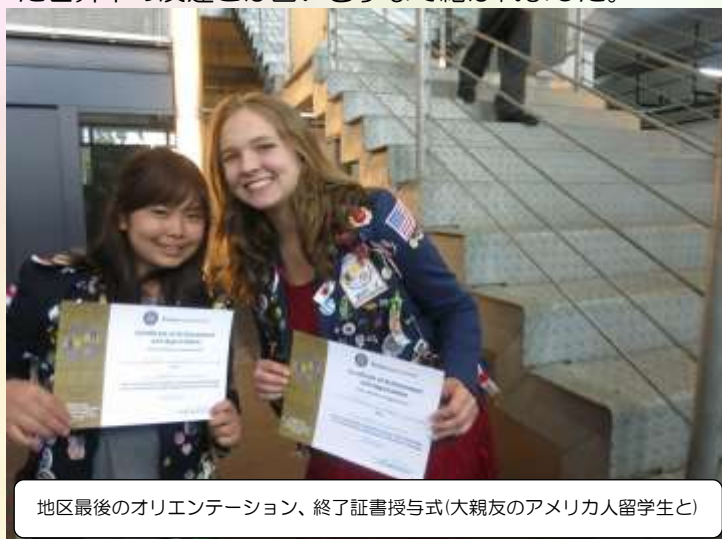
大学はドイツ語とは無縁の大学に進学しました。ドイツ語学科のある大学の内定ももらっており、その道に進む事も出来ましたが、海外では言語を専攻する場合は2つ以上を専攻する事が多いです。また、高校でドイツに留学し、大学でもドイツ語やドイツ文化を学ぶのは、面白そうである一方、他の事も学びたいという気持ちがありました。同級生の中には留年が嫌だから留学をしないという人、受験の妨げになるから留学は諦めるという人もいました。しかし、受験と留学は切り離して考えるべきで、受験勉強よりも高校留学の1年間の方がよっぽど社会勉強になると私は強く思います。留学先のホストファミリーや留学先で知り合った世界各国の友人とは今でも連絡を取り合っており、大学の休暇を利用してドイツやメキシコ、スイス、スコットランド、日本で再会しました。高校での留学で一番大きな財産は語学ではなく、1年間親元を離れ、現地の人々と生活するその生活経験と人脈だと考えます。私は大学在学中ドイツ語を忘れないよう自学をし、卒業後は在オーストリア日本国大使館に就職しました。今はそこで知り合った同僚と結婚し、夫の転勤先のナミビア共和国で生活しています。これら全ての縁の始まりはドイツへのロータリー交換留学という選択でした。



ホストファミリー宅にてお別れ会(イッペンビューレン自宅)

【父より娘の留学に際して】

今思えば娘は15歳でロータリーの交換留学に応募したところから、自ら人生を切り開いていきました。親元を離れ、異国の地で、聞き覚えのない言語での生活がいきなり始まりました。数か月は心細さと苦労の連続だったのだと想像します。遠方の地で親もできることはありません。ただ、その受入国には我々と同じように子供を持ち、交換留学に出しているロータリアンがいました。異国の地で不安と戦っている子供たちに常に寄り添ってくれ、適切なアドバイスをくれました。また、同じような環境で出会った世界中の友達とは固いきずなで結ばれました。



地区最後のオリエンテーション、終了証書授与式(大親友のアメリカ人留学生と)

今でも様々な言語で連絡を取り合える存在やつながりが励みになり、自信につながり、「世界を生きる力」を身につけたように感じました。10代で海外に行ったからこそ得られたものと感じます。

たった1年の交換留学が、こんなにも子供を成長させました。留学前には、何度も何時間もかけて御殿場や米山会館での研修やオリエンテーションに参加しました。道中の、それまであまりなかった娘との会話や時間が今では私の宝物になりました。

派遣学生：吉村公太郎（山梨学院高等学校）

（2018～2019年度 派遣先国イタリア）（スポンサークラブ：甲斐 RC）

【留学前】

高校時代、家族の影響があり留学をしたいという気持ちをなんとなく持っており、それが青少年交換プログラムに参加しようと思ったきっかけでした。

派遣国については、英語はどこでも独学で学ぶことができ、言語の上達よりも交換留学としての文化的な交流に価値を感じていた私にとって、行きたかった国は必然的に非英語圏に絞られました。そして不純な動機ですが、なんとなくかっこいい国だな、というぼんやりとした理由でイタリア共和国を派遣先に選ばせていただきました。

【留学中】

僕にとって1年間の交換留学は、自分という人間について深く知るものでした。異国での生活はこれまでの自分の常識が通じません。そのため、異文化に慣れ自分を変化させる必要がありました。その過程の中で、今まで疑問を持てなかった自分の行いを見直し、それに問いを持ち始め、自分という人間を知る事ができました。

僕はその中でも特に、自身の日本人特有の「察して欲しい」コミュニケーションについて改めて考えさせられました。



イタリア人は言葉でのコミュニケーションを大切にしています。問題があったら徹底的に話し合います。そんなイタリア人のコミュニケーションの印象はとても強烈であり、なんて野蛮で人に気を遣えない人たちなのだと思っていました。日本人である僕にとって、相手の気持ちを考えないことは失礼にあたるからです。しかし一緒に生活するうちに、イタリアでは自分が何を考えているかについて相手に気を遣わせることの方が無礼で、本音で話し合うのはその無礼を避けるための礼儀であることを知りました。また、話し合いで傷つき、すれ違いが起きることになったとしてもそれはお互い様、という考え方の違いがありました。それまで僕は、分かり合えないことは話し合ってもしょうがないだろう、と考えていましたが、それは自分の言語化する力と、相手の本音を知ることによって傷つきたくないという甘えから生じた行動だったことに気づきました。このことを理解してから今までの自分の人に接する態度が圧倒的に変わり、現地の人の輪により積極的に関わるようになりました。交換留学は、語学力の向上や異文化理解という点が強調されがちですが、その先にある自分を知るという学びの方が大きいと思います。特に、高校生の留学は自分という人間が育った土壌を見つめることに大きな意味があります。僕にとってこの交換留学は僕の行くべき道を教えてくれるコンパスのような、大切な経験になりました。

【留学後】

現在はハンガリー政府の奨学金を獲得することができ、2021年9月からブダペストに位置する Eotvos Lorand「エトヴェシュ・ロランド大学」で国際関係学を専攻しています。



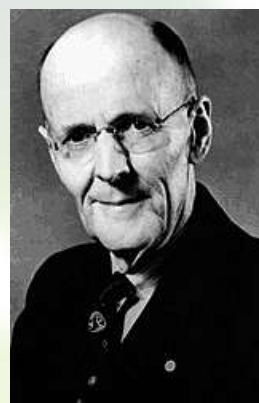
地区大会（同期の仲間達と）

20代という、大いに学ぶ時期を外国で過ごすことができることにとても喜びを感じています。この奨学金に申し込み大学に進学するという選択肢も、ロータリー青少年交換留学を経験しなかったら出てこない決断でした。今振り返ってみると、あの交換留学は私のその後の人生を180度変える経験でした。そのような大きなチャンスを私に与えてくれたロータリーに心から感謝しています。

～ロータリーの歴史～

ロータリーは、一人のアメリカ人のビジョンによって始まりました。その人の名は、ポール・ハリス。シカゴで弁護士として働いていたハリスが、世界初のロータリークラブ（シカゴ・ロータリークラブ）を設立したのは、1905年2月23日。さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくるのが、ハリスの夢でした。

設立以来、ロータリーは徐々に人道的奉仕にも活動を広げ、今ではさまざまな職業や文化をもつロータリー会員が日々、さまざまな課題を解決するために草の根の活動や国際的な取り組みを行っています。



ポール・P・ハリス

～ロータリーのコミットメント～



真に国際的な団体であるロータリーは、創設後わずか16年の間に6大陸へと広がりました。日本では1920年（大正9年）に初のロータリークラブ（東京ロータリークラブ）が設立され、今やロータリーの会員は、世界が直面する諸問題を解決するために、世界中で活動しています。1979年にはフィリピンで600万人の子どもにポリオの予防接種を行うプロジェクトを開始し、これが世界的なポリオ根絶活動のきっかけとなり、現在、野生型ポリオウイルスが常在する国は、1988年の125カ国から、わずか2カ国に減っています。

Rotary



今こそあなたも

インターアクトクラブへ

ロータリークラブは、奉仕を通じて 12～18 歳の若きリーダーの活力を引き出し、インターアクトクラブへの支援によって、責任感のある世界市民を育てています。

- ニーズを抱える地域社会に援助の手を差し伸べよう。
- 海外の若者たちと協力して、奉仕プロジェクトを始めよう。
- 遠く離れた土地の風習や文化について学ぼう。
- 地元の地域社会に貢献しよう。



富士学苑高校・町内清掃活動

～インターアクトとは～

インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。インターアクトクラブは、支援や指導を与えるロータリークラブによって後援されます。

インターアクトには世界中の 15,000 以上のクラブに所属する 340,000 人以上の青少年会員がいます。インターアクトは、ロータリーで急速に発展しているプログラムの一つです。

インターアクトクラブは、運営面でも資金面でも自立し、学校あるいは地域社会を基盤として結成されています。

インターアクトという名称は「インター



甲府商業高校・校内フードドライブ

ナショナル」(国際的)と「アクション」(行動)という2つの語が複合されてできた名称です。インターアクトクラブは、120以上の国や地域に存在し、真の意味で国際的な現象となっています。

インターアクトの世界的な青少年ネットワークは、社会奉仕と国際奉仕に懸命に取り組んでいます。その規模に関係なく、すべてのインターアクトクラブプロジェクトは、世界中の地域社会に末永い影響をもたらしています。

最も多いインターアクトクラブ数を誇る国は、ブラジル、インド、フィリピン、米国です。



山梨フードバンクへ

～ロータリーとは～

国際ロータリーは、事業や専門職務に携わる人々が集まった世界的な奉仕団体です。32,000 以上に及ぶロータリークラブには、120 万人以上の会員が所属しています。

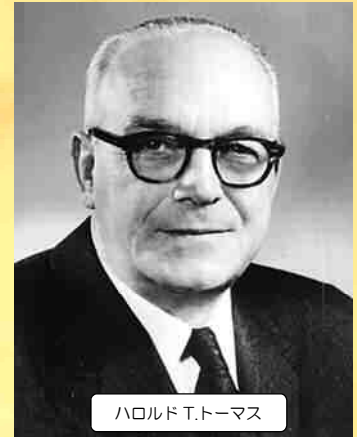
～インターアクトのはじまり～

創立以来ロータリーは、ニーズのある子供たちに手を差し伸べようとしてきました。

そして 1960 年、ロータリーは、青少年への奉仕に対して新たな取り組みを開始しました。青少年の秘められた可能性を見出したハロルド T.トーマス RI 会長は、青少年に奉仕を奨励する方法を見つけ出し、青少年が地域社会に対して積極的に関心を持つように促し、リーダーとして成長する機会を青少年に提供するよう、世界中のロータリークラブに呼びかけたのです。

その 2 年後、米国フロリダ州、メルボルンにあるメルボルン高校の 23 名が集まり、最初のインターアクトクラブを結成しました。これにより、ロータリアンは、単に青少年を支援するだけでなく、提唱ロータリークラブ（後援するロータリークラブ）と協力して地元や海外で奉仕する機会を青少年に提供することとなったのです。

それ以来、世界中の多くの地域社会がインターアクトクラブによる奉仕活動の恩恵を受けています。インターアクターは、プログラムを通じて、楽しく意義ある奉仕活動を行いながら、リーダーとしての力を身につけ、新しい友人を作っています。一方、提唱ロータリークラブは、将来のロータリアンの育成に努めるかたわら、プロジェクトにおいてインターアクターの力を借り、また、奉仕活動の斬新なアイデアをもらっています。



～インターアクトクラブの結成～



インターアクトクラブは、資金面でも運営面でも自立し、地元地域の提唱ロータリークラブから支援を受けています。インターアクトクラブを提唱するに先立ち、ロータリークラブは、インターアクトのプログラムについて調べておく必要があります。インターアクトプログラムに参加するロータリアンやインターアクターから話を聞くことで、ロータリークラブは、インターアクトとその恩恵について生の情報を得ることができます。

以下は、新クラブが、確固たる基盤の上に結成され、国際ロータリーにより適切に設立を認められるようにするためのステップです。ロータリアン、青少年、顧問教諭は、結成手続きにおいて、このチェックリストを参照するよう奨励されています。

インターアクトでできること



インターアクトクラブはたくさんの可能性にあふれています

- 学校や地元地域でボランティア活動をする
- 異文化について学び、国際親善に貢献する
- 学校や地元地域でリーダーシップを発揮する
- 楽しみながら、世界中に友だちをつくる

インターアクトクラブを成功させるためには

ロータリークラブの支援を確立する

インターアクトクラブの提唱に関心のあるロータリークラブは、提唱のための必要条件について検討するインターアクト小委員会を設けます。地区プログラム委員会委員長、インターアクト委員長にも相談し、地区内のほかのインターアクトクラブがどのように運営されているのかを尋ねるとよいでしょう。

提唱に必要なすべての情報を集めたら、インターアクト小委員会は、その結果についてロータリークラブにプレゼンテーション（説明発表）を行います。以下は、説得力のあるプレゼンテーションを行うための秘訣です。

- 奉仕の精神に満ちた青少年を支援することの恩恵を明確に説明する。
- ロータリアンの参加と支援が、インターアクトクラブの成功にとって重要であることを強調する。
- 現インターアクターを招待し、インターアクトでの有意義な経験について話してもらう。

ロータリークラブ理事会がインターアクトクラブの提唱を承認した場合、クラブは、インターアクトクラブの結成基盤を地域社会にするか、学校にするかを決めなければなりません。

- 地域社会を基盤とするインターアクトクラブの会員は、ロータリークラブが所在する地域内の複数の学校の生徒から成ります。顧問ロータリアンは、すべてのインターアクトクラブの会合に出席しなければなりません。
- 学校を基盤とするインターアクトクラブの会員は、1校の生徒から成り、顧問ロータリアンは、インターアクトクラブの理事会・会合に出席することが義務づけられます。



<留意点>

ロータリークラブが学校を基盤とするインターアクトクラブを提唱する場合、インターアクト小委員会の委員一名が学校関係者と会い、インターアクトプログラムとその利点について説明する必要があります。ロータリアンと学校関係者が協力し、会員の資格条件、クラブの方針、インターアクトクラブ会合の時間と場所、顧問教諭を決定します。

2021～2022 年度インターアクト年次大会

年次大会は、毎年夏休みに 1 泊 2 日で研修や交流、講演会などを行っており、運営については、登録校がローテーションで行っています。各県・地域・学校の特徴を生かした場所や内容で、毎年違う趣向で参加者みんなが楽しんでいます。

昨年度は、コロナウィルスまん延防止のため、中止となりました。

今年度は、県境を越えて集まることは難しいとのことで、Zoom によるオンライン開催を計画しました。活動テーマを『医療従事者にエールを』『新たな地域貢献活動』『学校が日頃取り組んでいる活動』の三つに定め、各校の活動経過報告・グループごとの意見交換・グループからの意見/感想発表など、短時間の中、内容の詰まった会を実施する予定でした。

『学校が日頃取り組んでいる活動』の三つに定め、各校の活動経過報告・グループごとの意見交換・グループからの意見/感想発表など、短時間の中、内容の詰まった会を実施する予定でした。

残念ながら、直前で中止となってしまいましたが、今後の活動の参考にさせていただくために、各校で作成した活動経過報告の動画を DVD にまとめ、各登録校・提唱クラブに送りました。どの学校も、『自分たちに今だから出来ることを』考え、行動している様子を知ることが出来、とても勉強になりました。

今後も、新しい形での実施を模索していくことになると思いますが、生徒たちの交流・学びの場として続いていくとありがたいです。

甲府南高校が取り組んでいる地域貢献活動は、毎年、年末年始や富士山の日に合わせて献血イベントに参加していたり、ショッピングセンターで行う献血の呼びかけやアンケートのお手伝いをしていました。しかし、コロナウィルスまん延のため、活動が出来なくなり、献血者も減少しているとのお話もあったので、私たちにも出来ることがないかアイディアを出し合いモザイクアートを作成し、山梨県赤十字血液



甲府南高校・モザイクアート作成風景

センターにプレゼントさせて頂きました。

課外活動の時間には制限があり、思うように活動が出来ず時間がかかりましたが、やっと完成し、プレゼントすることが出来ました。血液センターの所長さんをはじめ、担当の皆さんに喜んでいただけて、私たちもうれしかったです。献血に協力してくれる人が増えたらうれしく思います。

今後は、オリジナルのデザインを考え、医療機関にもプレゼントしたいと考えています。



甲府南高校・献血活動

山梨県立甲府南高校 インターアクト担当教諭 吉野 清子

2021～2022 年度インタラクティブ指導者講習会

11月17日に初めての試みとしてオンラインによるインタラクティブ指導者講習会を開催しました。

今年度は、4月中旬より、ロータリークラブ関係の皆様と今年度の年次大会開催予定の甲府南高校の吉野先生と共にオンラインで会議を開き、どのような形態で年次大会と指導者講習会を行うか話し合いを続けてきました。今までのような生徒同士の交流を図るような内容は難しいが、何とか生徒同士の交流ができるものでコロナ禍の今だから

できることを考えてみてはどうだろうか、と話し合ってきました。甲府南高校での日本赤十字社にモザイクアートをプレゼントするという活動をヒントに、2620地区の各学校が「医療従事者の方へエールを」という目的で活動し、それを発表する場として指導者講習会を位置づけることになりました。実際には「医療従事者の方へエールを」という活動が難しい学校も多くあったため、これまでは生徒同士の交流の中で口頭で発表していた通常の活動を含めて、パワーポイントや動画の形で他校に発信する形式となりました。今まで口頭でしか聞いたことのなかった各学校の活動を、2分程度という短い発表ではありますが目に見える形で発表してもらい、各学校の生徒に少なからず深い印象を残すことが出来ました。

特に桐陽高等学校のアルミ缶回収の取り組みは大掛かりであり、どの学校の生徒にもすごいと感じさせるものがあったようです。しかし現在のインタラクティブクラブは、生徒会活動の一環であったり、クラブ活動として活動している学校も人数が少なかったりと、中々大掛かりな活動は難しい状況にあります。この中で、西遠女子高等学校のオンラインによる海外高校生との交流や富士学苑高等学校や伊豆総合高等学校の街頭清掃活動など、インタラクティブクラブ以外の生徒を巻き込んだ活動も多くみられ、参考としたいと感じました。私たち聖隷クリストファー中・高等学校は、コロナ



応援メッセージ入りボールペン

対応病院が近いことを利用して、医療従事者の方にメッセージ付きのボールペンをプレゼントしました。このように、今回の各学校の発表とグループワークを通じて、各学校の生徒に自分たちの学校でこんな活動をしてみたいとか、これならできるかもとか思いが生まれたはずです。来年度以降もまだ、今までのように集まって年次大会や指導者講習会が行われるかは不透明な状況ではありますが、オンラインならではの良さもあると気づくことができた会でありました。

最後になりますが、今回の指導者講習会の開催にあたり、ご尽力をいただいた小林ガバナーをはじめとする2620地区ロータリークラブ関係の皆様、浜松北ロータリークラブの皆様、配信の準備から実施まで事細かにお手伝いいただいた聖隷クリストファー大学の関係の皆様、そして動画作成等にご尽力いただいた各学校顧問の先生方に深く感謝申し上げます。

聖隷クリストファー中・高等学校 インタラクティブ担当教諭 柴山雅美



聖隷クリストファー中・高等学校・三方原病院へ応援メッセージ入りボールペン寄贈



応援メッセージ入りボールペン作成

国際ロータリー第 2620 地区

インターアクト対象校&提唱ロータリークラブ

2022 年 10 月現在

対象校	提唱ロータリークラブ
甲 府 商 業 高 等 学 校	甲 府 南
日 本 大 学 三 島 高 等 学 校	三 島
沼 津 中 央 高 等 学 校	沼 津 北
藤 枝 順 心 高 等 学 校	藤 枝
聖隷クリストファー中・高等学校	浜 松 北
富 士 学 苑 高 等 学 校	富 士 吉 田
西 遠 女 子 学 園 高 等 学 校	浜 松
山 梨 英 和 高 等 学 校	甲 府 シ テ ィ
日 本 航 空 高 等 学 校	韭 崎
甲 府 城 西 高 等 学 校	甲 府 北
知 徳 高 等 学 校	三 島
甲 府 南 高 等 学 校	甲 府
白 根 高 等 学 校	南 ア ル プ ス
加 藤 学 園 高 等 学 校	沼 津 西
伊 豆 総 合 高 等 学 校	伊 豆 中 央
桐 陽 高 等 学 校	沼 津
沼 津 商 業 高 等 学 校	沼 津
静 岡 高 等 学 校	静 岡
静岡英和女学院中・高等学校	静 岡
オイスカ浜松国際高等学校	浜 松 西

ロータリーの創始者ポール・ハリスの言葉

ロータリーの目標は抑制ではなく、奨励です。

受け身でなく、積極的人生を奨励しています。

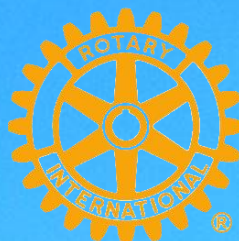
～ロータリーの理想と友愛より～

Rotary's objects are exhortations, not inhibitions; they encourage the active, not the passive life.

～This Rotarian Age～

Rotary

District 2620



国際ロータリー第 2620 地区

地区事務所

〒420-0853 静岡市葵区追手町 2-12 安藤ハザマビル 5F

TEL:054-252-2620 FAX:054-274-2621

E-mail: office@ri2620.gr.jp